

欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2010年12月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2010年12月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって、何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- [【風力・太陽光：ドイツ】コネルギー、風力発電事業を売却し太陽光に特化](#)
- [【風力：英国】風力発電機器の英アルテミス、三菱重工が買収](#)
- [【風力：スペイン・英国】イベルドロラなど、英国で大規模風力発電計画に着手](#)
- [【CCS：英国】CCSのパワーフェュエルが経営破たん、売却で事業は継続へ](#)
- [【低排出車：フランス】パリで電気自動車のレンタルサービス、来年秋に開始](#)
- [【低排出車：英国】英政府、電気自動車の購入補助で対象9モデルを発表](#)
- [【バイオ燃料：ドイツ】ルフトハンザ、来年4月から定期便でバイオ燃料を使用](#)
- [【政策：英国】英政府、電力市場の改革案を公表、排出権最低価格など導入](#)
- [【政策：EU】欧州連合、軽商用車の二酸化炭素排出規制で基本合意](#)
- [【政策：EU】加盟各国の環境税収、最高はデンマーク](#)

--- ニュース -----

【風力・太陽光：ドイツ】コネルギー、風力発電事業を売却し太陽光に特化

太陽光発電機器大手の独コネルギーは12月9日、ドイツとフランスの風力発電事業を英投資会社のインボックスに売却すると発表した。売却するのはドイツで開発中および稼働済みの合計容量116MW分、およびフランスで開発中の容量285MW分の風力発電施設。同社は太陽電池の価格下落と需要の後退を受けて経営が悪化、非中核の風力事業を手放し、主力の太陽光発電分野に資源を集中して経営再建を目指す。

ニュースリリース：http://conergy-group.com/en/desktopdefault.aspx/tabid-2217/3263_read-11948/

【風力：英国】風力発電機器の英アルテミス、三菱重工が買収

三菱重工は12月3日、風力発電向けの油圧ドライブ技術を手がける英ベンチャー企業のアルテミス・インテリジェント・パワーを買収したと発表した。アルテミスは風力発電タービンやエネルギー機器向けの、デジタル技術を使った油圧制御分野で強みを持つ。三菱重工は、大型洋上風力発電プロジェクトの相次ぐ英国で風力タービン市場に参入することを決めており、アルテミスの技術を自社の風力タービンに採用する。

ニュースリリース：<http://www.mhi.co.jp/news/story/1012035004.html>

【風力：スペイン・英国】イベルドロラなど、英国で大規模風力発電計画に着手

スペイン電力大手イベルドロラの再生可能エネルギー子会社であるイベルドロラ・レノバブレスは12月1日、英国中東部沖の北海で、総発電容量7.2GWの超大型洋上風力発電プロジェクト「イースト・アングリア・アレー」の第一段階に着手したと発表した。イベルドロラ・レノバブレスの英子会社であるスコティッシュパワー・リニューワブルズとスウェーデンの電力大手バッテンフォールが共同で、第一段階の容量1.2GW分のプロジェクトを開始した。サフォーク州の43キロ沖合に400基の風力タービンを建設、2015年の完成を目指す。

ニュースリリース：http://www.iberdrola.es/webibd/corporativa/iberdrola?IDPAG=ENMODULO_PRENDA&URL_PAG=gc/prod/en/comunicacion/notasprensa/101201_NP_01_FolicaReino Unido.html&WT.rss_a=IBERDROLARENOVABLESBEGINS12MWFIRSTPHASEOFEASTANGLIAARRAYOFFSHOREWINDPROJECTINTHEUK&WT.rss_f=notas_prensa&WT.rss_ev=c

【CCS：英国】CCSのパワーフュエルが経営破たん、売却で事業は継続へ

英国で最初の商業規模の二酸化炭素回収・貯留（CCS）プラント計画を手がけていたパワーフュエルが12月初旬に管財人の管理下に入ったことが、管財人であるKPMGの発表で明らかになった。CCSを手がける子会社はCCSを付設した出力90万キロワットの石炭火力発電所を建設する計画で、欧州連合（EU）から1億8,000万ユーロの補助金を受けることが決まっていた。管財人はCCS子会社を新たな投資家に売却し、事業を継続する方針。
ニュースリリース：<http://rd.kpmg.co.uk/search.asp>

【低排出車：フランス】パリで電気自動車のレンタルサービス、来年秋に開始

来年秋からパリで、電気自動車の時間貸しサービスが始まる。パリ市が12月17日発表した。パリは市民や旅行者が手軽に自転車を借りられる自転車レンタルサービスをいち早く手がけたことで知られるが、今回のサービスはこの自動車版。「オートリブ」と呼ばれる新サービスでは、市内および近郊に1,000カ所のステーションを設け、3,000台の電気自動車を投入する。運営は仏複合企業のボロレが手がける。利用者はインターネットや電話で利用を予約でき、30分単位で使用料を支払う仕組み。

ニュースリリース：

http://www.paris.fr/portail/pratique/Portal.lut?page_id=9601&document_type_id=5&document_id=80594&portlet_id=23654

【低排出車：英国】英政府、電気自動車の購入補助で対象9モデルを発表

英政府は12月14日、電気自動車の購入費補助の対象となる9モデルを発表した。日産「リーフ」、三菱「アイミーブ」、トヨタ「プリウス・プラグイン」の日本車3モデルに加え、フランス・プジョーの「イオン」、インド・タタの「ビスタEV」、英ボクソール「アンペラ」など。2011年1月から、購入者に対し5,000ポンドを上限に車両価格の25%を補助する。2012年以降、対象モデルは拡大される見通し。

ニュースリリース：<http://nds.coi.gov.uk/clientmicrosite/Content/Detail.aspx?ClientId=202&NewsAreaId=2&ReleaseID=417036&SubjectId=36>

【バイオ燃料：ドイツ】ルフトハンザ、来年4月から定期便でバイオ燃料を使用

独航空大手のルフトハンザは11月29日、来年4月から定期便でバイオ燃料を使用することを明らかにした。フランクフルトとハンブルグを結ぶ路線で半年間にわたり、エンジンの1基にバイオ燃料と通常のジェット燃料を半々で混ぜた燃料を使用、エンジンに与える影響などを調べる。同社によれば定期便でバイオ燃料を使用するのは世界で初めて。バイオ燃料はフィンランドのネステオイルが供給する。

ニュースリリース：

<http://presse.lufthansa.com/en/news-releases/singleview/archive/2010/november/29/article/1828.html>

【政策：英国】英政府、電力市場の改革案を公表、排出権最低価格など導入

英政府は12月16日、電力市場の改革案を公表した。発電部門の脱炭素化を促すのが目的。再生可能エネルギー発電への投資を促進するため、排出権の最低価格の導入、柔軟性の高い固定価格買取制度の導入などを盛り込んだ。英国では電力販売事業者に再生可能エネルギー電力の一定比率の利用を義務付ける「再生可能証書」制度が実施されているが、将来、固定価格買取制度に変わる可能性がある。来春に最終案を決定、2013年の導入を目指す。

ニュースリリース：http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn10_130/pn10_130.aspx

【政策：EU】欧州連合、軽商用車の二酸化炭素排出規制で基本合意

欧州連合（EU）の欧州委員会、欧州議会および理事会の3主要機関は12月15日、軽商用車を対象とした二酸化炭素（CO₂）排出規制で基本合意した。CO₂排出量を走行1キロ当たり175グラムとする規制を2017年以降、全ての新車に適用し、2020年に147グラムまで引き下げる。欧州委の当初案に比べ、175グラム目標の達成時期を1年先送りし、2020年目標を135グラムから緩和した。乗用車については2012年から段階的に導入されることが既に決まっており、軽商用車にも対象範囲を広げる。

ニュースリリース：<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/10/1728&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en>

【政策：EU】加盟各国の環境税収、最高はデンマーク

欧州委員会が12月10日発表した統計によれば、環境保護を目的とした税収規模は加盟国間で大きく異なることが明らかになった。統計はガソリンなどにかかるエネルギー税、航空旅客や自動

車の保有を対象とする運輸税、汚染物質の排出などに関する汚染防止税の3分野を環境税と定義し、2008年の加盟各国の税収をまとめた。その結果、最も高かったのはデンマークのGDP比5.7%で、2位はオランダの3.9%だった。逆に最も低かったのはスペイン（1.6%）だった。一般に、北欧諸国の比率が高かった。

ニュースリリース：<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=STAT/10/189&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en>

◆◆「EBS産業レポート」最新版 発売中◆◆-----

◎1 「欧州の先進環境100社——最新市場動向と注目企業の横顔」 113頁

主な内容

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2009年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2009年実績と成長見通し
- 分野別の成長予測
- 洋上風力、太陽熱、波力・潮力発電の動向

◎2 「欧州自動車産業の最新動向 2010-11年版——EUのエコカー戦略」 110頁

主な内容

- エコカーに対するEUの開発支援戦略
- EUと主要国の自動車関連環境政策—CO2排出規制の概要など
- 欧州のエコカー市場の現状と見通し
- 欧州の大手乗用車メーカーのエコカー戦略
- 主要乗用車メーカーの過去1年間の展開と今後の見通し
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向
- 主要自動車メーカーの欧州・ロシアの生産施設立地

◎3 「これだけは知っておきたいEUの環境規制 2010-11年版 108頁

主な内容

- EU2020年戦略における環境・気候変動政策のビジョン
- エコデザイン指令～新ErP（エネルギー関連製品）指令
- WEEE／RoHS指令および廃車指令の概要と改正の動向
- REACHの基本と実施状況
- 2020年とそれ以降に向けた温室効果ガス排出削減の目標と議論の動向
- 再生可能エネルギー促進指令
- 建物エネルギー性能指令
- 今後のEU排出権取引の制度詳細 ほか

価格：PDF版 395ポンド／485ユーロ／53,000円（全税別）

（ハードコピー+PDF版：480ポンド／590ユーロ／65,000円（全税別））

レポートの詳細に関しましてはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.htm>

◆◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中！◆◆-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページから登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承ください。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◆◆当サービスのご利用に当たって◆◆-----

★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。

<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。

news@ebsukltd.com

発信元◇EBS(UK)Ltd.

1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM

ウェブ： <http://www.ebsukltd.com/> メール： news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2010 掲載記事の無断転載を禁じます。
